

施設（※）で陽性者が出ると、誰もが「これからどうなるんだろう？」と不安になります。

新型コロナは施設で広まりやすい感染症で、しばらく対応が続くかもしれませんが、落ち着いて対応することで、感染拡大を防げます。また、早期に治療を開始することで重症者を減らすことができます。次の手順に沿って、まずはどう動いたら良いかを確認しましょう！



©2014 大阪府もずやん

※ 本マニュアルは高齢者及び障がい児者等重症化リスクの高い方の入所施設を対象に作成しています。

**重要!**

**施設で何が起きているかを全員で共有し、今後の対策は全員で協力して対応していきましょう**

## 2 必要な个人防护具（PPE）等資材が揃っているか確認しましょう。

新型コロナウイルスに対応するためには、「うつさない、うつらない」ための準備が必要です。使用のたびに廃棄することが望ましいため、十分な量を用意しましょう。

- **防護服又はビニール製のエプロン**  
ウイルスを体につけないためのものです。陽性の方と接する部分を覆うものを用意してください。
- **手袋**  
陽性の方の様々な対応を手袋をしてから行います。手にフィットするものを選びましょう。
- **ゴーグルまたはフェイスシールド**  
ウイルスが目の粘膜などから体内に侵入することを防ぎます。
- **サージカルマスク**  
鼻までしっかり覆い、隙間のないようにつけましょう。  
※環境中にウイルスが大量に存在しているようなときは「N95マスク」を隙間のないように着用してください（シールチェックも行いましょう）。
- **ヘアキャップ**  
頭部へウイルスが付着することを防ぎます。髪を確実に覆いましょう。
- **ゴミ箱**  
陽性の方を対応した後、使用したPPE等は保管せず速やかに廃棄します。脱いだ後、その場所ですぐ捨てられるようにふた付きゴミ箱を用意しましょう。
- **消毒液**  
新型コロナウイルスにはアルコール消毒が有効です。また、熱湯や次亜塩素酸ナトリウムでも消毒ができますので、用途によって使い分けてください。

**アルコールは、濃度76.9%以上81.4%以下のエタノールが効果的です！**

手洗いがすぐにできない状況では、アルコール消毒液も有効です。手が汚れていると手袋をしていても同じです。手洗い、消毒は定期的に行いましょう。



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。火傷に注意してください。



濃度0.05%に薄めた上で、拭くと消毒ができます。ハイター、ブリーチなど、裏面に作り方を表示しています。

※目や肌への影響があり、取り扱いには十分注意が必要です。※必ず製品の注意事項をご確認ください。※金属は腐食することがあります。



有効な界面活性剤が含まれる「家庭用洗剤」を使って消毒ができます。NITEウェブサイトで製品リストを公開しています。

NITE 洗剤リスト [検索](#)

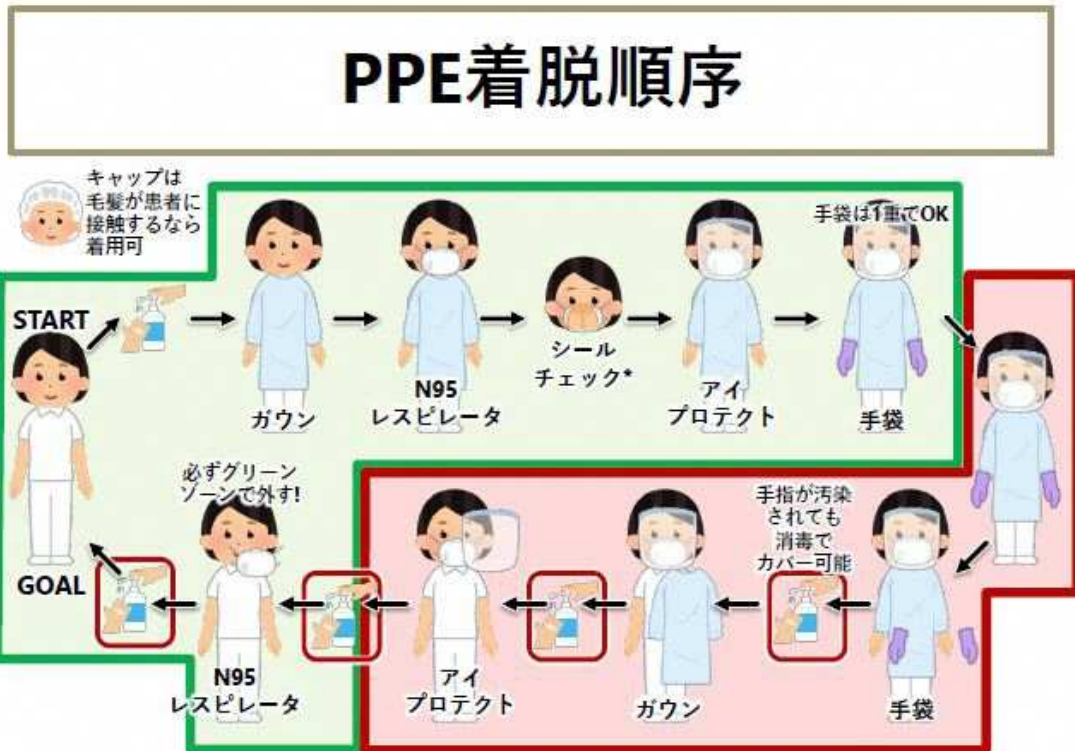
[こちらをクリック](#)



# 防護服等の正しい着方、脱ぎ方

特に脱ぐときは気を付けて！

ウイルスは防護服の外側についているので、きれいになった手などで防護服の外側に触れないように意識を！



\* シールチェックとはN95レスピレータが適正に着用されているかを、息を勢よく吐いたり吸ったりして、レスピレータの横から空気が漏れないかを確認する手技のこと。  
 出典：東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野 実際の事例に基づき研究班において作成

### マスクの着脱法

- ★ノーズワイヤーが上に来るように装着
- ★マスクの裏表が包装紙に明記されている場合は、指示に従って適切に装着

- マスクの隙間から空気がもれないよう鼻と口を覆うように着用しましょう
- マスクにはウイルス等がついている可能性があるため、紐をもってそと外しましょう

### ガウンのはずし方

- 手袋をはずします。
- 外側の面に触れないようにしてそと外しましょう
- 外側の面が内側になるようにしてたんで捨てます。

### 手袋のはずし方

- 手袋の外側を引っ張り上げ、片方の手袋を脱ぎます
- そのまま、手や腕に触れないように脱ぎます
- 脱いだ手袋は、もう片方の手で握ります
- 手袋を脱いだ手で、もう片方の手袋の内側を持ち上げます。外側の汚れた部分に触れないよう注意します
- 汚れた側が内側になるように、外します

出典：厚生労働省資料「施設内療養時の対応の手引き」



動画はこちら ▶

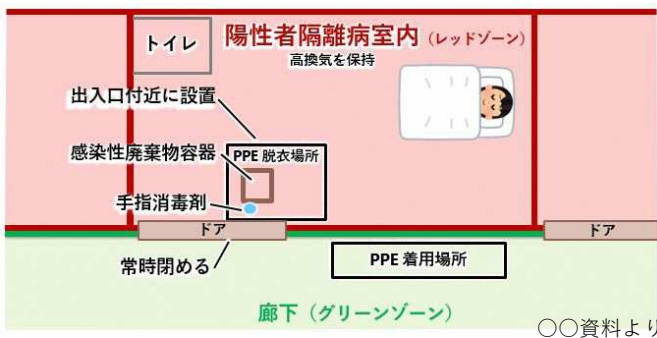


<https://www.youtube.com/watch?v=gSgft2xPMVc>

### 3. 陽性者の方を個室で隔離してください。陽性判明時に個室にいない方は、一旦、以下の手順で個室へ移動させてください。

陽性の方から感染拡大しないために必要な作業です。

- 陽性となった方に対応する方はPPE等を着用してください。
- 陽性者を個室へ移動してください。
- 陽性者を個室へ移動した後は、個室の入り口で防護服を脱いでから外へ出てください。  
※ 脱ぎ方は別添のとおりにし、脱いだものはビニール袋に入れてから、個室入口付近に用意したゴミ箱に入れてください。
- マスク、手袋、エプロンを着用の上、個室以外で陽性者が触れた部分を消毒してください。



#### 個室のイメージ

レッドゾーン：ウイルスが多い区画  
グリーンゾーン：ウイルスがいない区画

ウイルスはレッドゾーンで抑えて、グリーンゾーンには出さないように！



陽性者が多数にわたるときは同室で複数を管理。濃厚接触者はそれぞれ個室管理してください。

### 4. 施設内でのゾーニング（区画分け）を考えましょう。

新型コロナウイルスの感染が落ち着くまで長期戦になる可能性があります。効率よく、メリハリをつけて、職員の負担が少ない形で対応できるようなゾーニングを計画しましょう。

#### ① 考え方をしっかり理解しましょう！

ウイルスはレッドゾーンで抑えて、グリーンゾーンには持ち込まないことが基本です。

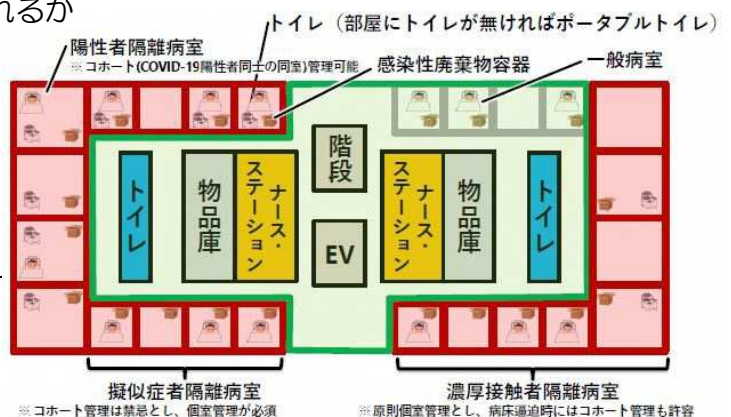
- ウイルスが多い区画（レッドゾーン）
  - ・この区画では、PPEを着用した状態で対応。
  - ・原則、レッドゾーン内から紙一枚でも持ち込まないように！
- ウイルスが少ない区画（イエローゾーン）
  - ・レッドゾーンからグリーンゾーンに戻るまでの中間地点。
  - ・防護服を脱いで、消毒し、ウイルスがない状態に戻るための場所。脱衣のためだけのゾーンと考えて！
- ウイルスがいない区画（グリーンゾーン）
  - ・ここではホッと一息いれてください。職員の休憩、食事も個々の区画で！
  - ・防護服等はこのゾーンで着ていくこと

#### ② 負担の少ないゾーニングを考えましょう。

- 陽性者だけを一つの区画にまとめられるか
- 濃厚接触者だけを一つの区画にまとめられるか

※ 一つの区画にまとめられなければ、1の個室対応を徹底しましょう

#### 施設全体のゾーニングのイメージ



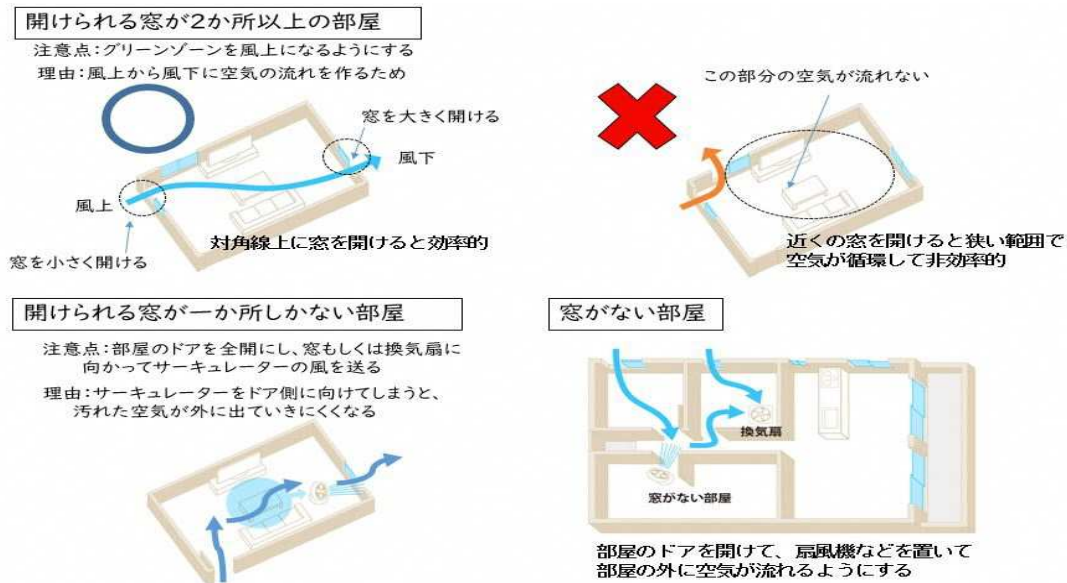
職員全員が同じ認識で対応するために、レッドゾーンの床や壁には赤いテープ、グリーンゾーンの床や壁には緑のテープを貼るなど、皆の目に見えるようにしておきましょう。

グリーンゾーンを広くとれるように計画すると、職員の負担が減ります。



ウイルスを室外に排出するためには、グリーンゾーンを風上に、レッドゾーンを風下になるように換気扇を活用して空気の流れを作りましょう。窓を使った換気を行う場合、風の流れることができるよう、2方向の窓を、1時間に2回以上、数分間程度、全開にしましょう。

出典：東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野



## 5. 施設内で陽性者の治療をする準備をしましょう。

早期に新型コロナウイルスの治療をすることで重症化を防ぐことができます。施設内でできる限りの治療ができる準備をしましょう。

- 連携医療機関に治療について相談しましょう。  
3で作ったリストの情報を共有しましょう。
- 連携医療機関で治療が困難な場合は保健所へ  
3で作ったリストを共有していただくとともに、連携医療機関で治療が困難であったことを伝え、他の往診医療機関の応援等について保健所へ相談してください。
- 治療が実施される場合は、施設内のグリーンゾーンに医療機関の方が準備するスペースを用意しましょう

【参考】新型コロナウイルス感染症治療に用いられる主な薬剤

薬剤名	対象年齢 (※)	発症からの日数	投与方法	備考	
中和抗体薬	ソトロビマブ (ゼビュディ)	≥55歳	5日以内	点滴 1回投与	点滴時間は30分
	カシリビマブ/イムデビマブ (ロナプリーブ)	≥50歳	7日以内	点滴 1回投与	その後30分の観察が必要
抗ウイルス薬	モルヌピラビル (ラゲブリオ)	≥60歳	5日以内	経口 1日2回 5日間	
	レムデシビル (ベクルリー)	≥55歳	7日以内	点滴 1日1回 5～10日間	点滴時間は60分
	ニルマトレルビル・リトナビル (パキロビッド)	成人	5日以内	経口 1日2回 5日間	

新型コロナウイルスの治療は、陽性の方の状態により、上の治療薬が必ずしも投与できるとは限りません。陽性の方の発症状況やワクチン接種状況などを正確に医療機関にお伝えして、今後の方針を決めましょう。

## 6. これからの対応について計画しましょう

これから短くて2週間、長くて1ヶ月以上対応が続くかもしれません。次のことを考えておきましょう。

- 残った職員で、誰が何を担当するか。どのようなシフト体制を組むか。
- 不足している物資等をどのように補充していくか。
- 必要な連絡先を整理して、分かりやすいところに貼っておきましょう。

## 7. 施設内の濃厚接触者確認フロー

施設内での陽性者が感染力を持っている期間は？

- 陽性者が有症状の場合 症状が出た日の2日前(令和 年 月 日)から
- 陽性者が無症状の場合 検体をとった日の2日前(令和 年 月 日)から



陽性者が感染力を持っている期間に出勤や利用がありましたか？



はい



いいえ

事業所内で感染が広まる可能性は低いです。  
リストの作成は不要です。引き続き、  
感染予防対策及び健康チェックの継続をお願いします。

陽性者と従業員や利用者等との接触は以下のいずれかに該当しますか？

- 車内等で長時間の接触があった(換気なしで1時間以上)
- 手で触れる距離(目安として1メートル)でマスクなしで陽性者と15分以上話をした(工作中、休憩時間、更衣室内での接触も確認してください)



はい



いいえ

- 濃厚接触の可能性のある従業員や利用者はいませんが、陽性者の最終利用日から10日間は事業所内で症状のある人がいないか確認してください。
- 発症した従業員や利用者がある場合は、速やかに医療機関を受診するよう促してください。

上記接触のある従業員または利用者は濃厚接触の可能性あります。

- 接触者の聞き取りを行い、接触状況、健康状態等、リストを作成してください。
- 原則、陽性者と最後に接触した日を0日として以後7日間目までは自宅待機をしてください。また、濃厚接触のあった従業員等には、自宅待機中の7日間も含め10日間の健康観察を行うとともに、症状がでた場合には医療機関を受診してください。